

まつしま

# 議会だより

第156号

令和5年12月1日発行  
宮城県松島町議会



ボクたち、松高ボランティア部です。(松島7つの駅シリーズ⑦) 撮影場所 高城町駅

- ◇ 令和4年度決算概要…………… P 2
- ◇ 各課に問う 決算審査特別委員会…………… P 8
- ◇ 議案審議…………… P14
- ◇ 5人の議員が熱弁(一般質問)…………… P19
- ◇ 町民の声…………… P28

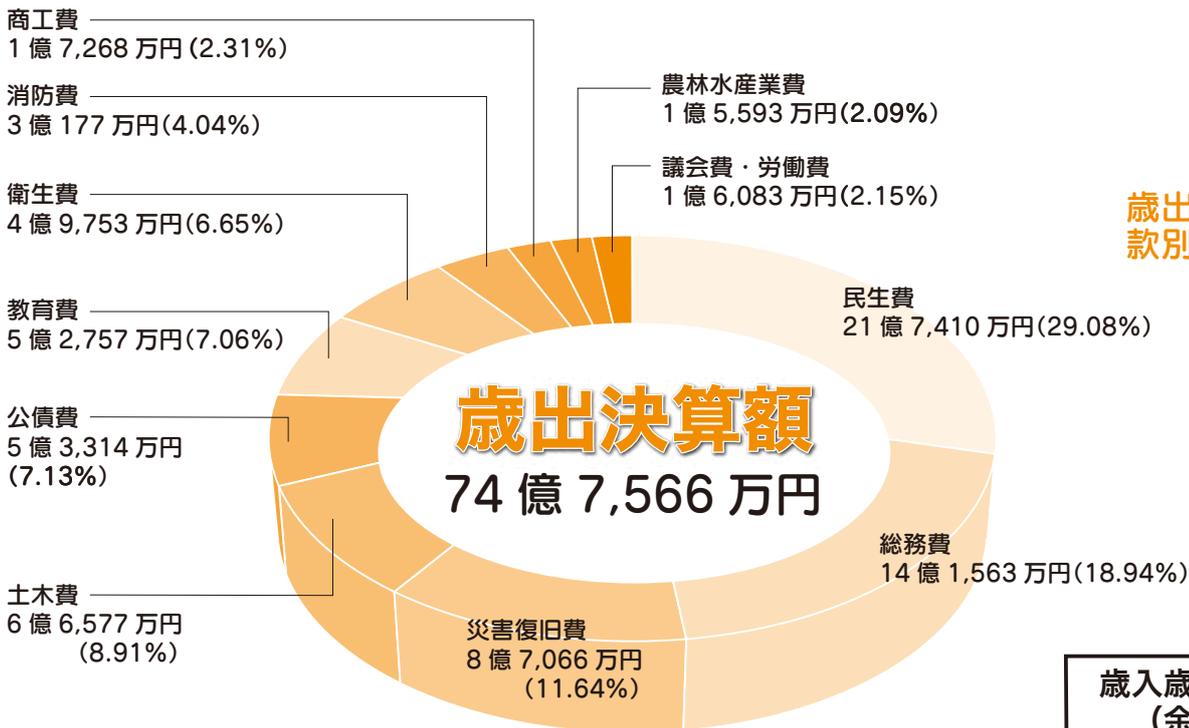
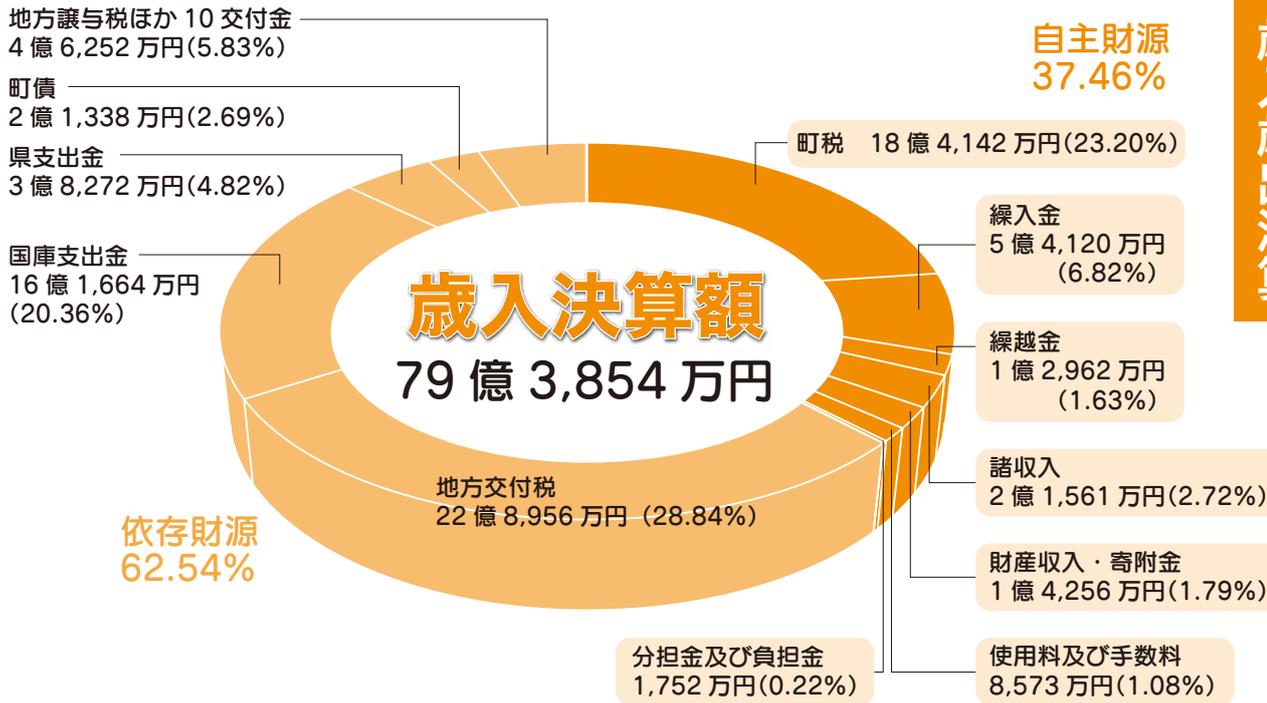
令和5年  
第3回定例会

[9月22日～10月6日]

# 令和4年度 各種会計決算

認定

## 一般会計 歳入歳出決算



**歳入歳出差引額 (余剰金) 4億 6,287万円**

決算収支は「黒字」になり、4億6,287万円(余剰金)は、令和4年度繰越事業8,943万円と財政調整基金の積立2億8千万円に使われ、残りは令和5年度一般会計予算へ繰り越されます。

**自主財源・依存財源(歳入)とは**  
町税、施設を利用する時の使用料、住民票や印鑑証明書を取るときにいただく手数料などで町が自主的に収入することができるお金。

**依存財源**  
道路や施設をつくる時の国庫支出金や地方債のほか、地方交付金や地方譲与税など国や県から一定の基準でもらうお金。

○各特別会計、水道事業会計の決算収支も一般会計と同様に「黒字」になりました。(次ページ)

## 特別会計・水道事業会計 歳入歳出決算

特別会計は、国民健康保険特別会計など7会計があります。  
余剰金は、7会計の合計で2億8,459万円となりました。

## 各特別会計歳入歳出決算額 (万円未満は切り捨て)

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	17億9,994万円	17億5,100万円
後期高齢者医療	2億2,251万円	2億2,029万円
介護保険	20億6,818万円	19億6,279万円
介護サービス	937万円	937万円
観瀾亭等	9,933万円	8,695万円
松島区外区有財産	3,752万円	3,751万円
下水道事業※	10億4,147万円	9億2,580万円

※下水道事業特別会計は打ち切り決算となります。

## 水道事業会計収支決算額 (万円未満は切り捨て)

区分	収入	支出
収益的収支	5億7,317万円	5億4,190万円
資本的収支	237万円	3億3,757万円

※水道事業会計の資本的収支に不足する額3億3,520万円は、過年度分損益勘定留保資金等で補填されました。

水道事業会計の資本的収支に不足する額は、過年度分の留保資金等で補てんされましたが、財政比率分析においては、おむね安定した経営になっています。

## トピックス

### 令和5年第1回 一般会議

令和5年7月5日(水)、一般社団法人松島観光協会の志賀会長をはじめとする協会幹部と、松島町議会議員とで、「これからの松島の観光について」を主題に意見交換を行いました。



観光協会の皆さんが出席されました



協会からは、観光客数や宿泊数の伸びや町の観光を取り巻く現状のほか、今後のイベントへの取り組みなどの説明を受けました。  
議員からは、遊覧船の燃料高騰を心配する声や体験型観光、環境改善事業の実施、キャッシュレス導入の進捗状況など質問をしました。  
観光への機運が高まる今、観光協会と連携しながら多様化した観光客のニーズに応じたおもてなしを提供できるよう議会で議論していきます。



高橋 幸彦  
議員

観光振興について

**問** 令和4年度の観光客の入り込み数は、212万3千人、宿泊者数は41万3千人となっている。入り込み数の目標は360万人、最低でも300万人、宿泊者は60万人としている。コロナの5類移行後、観光客は順調に戻ってきていると思うが、目標達成するための施策は。

**町長** たしかに入り込み数は増加しているのですが、引き続き、インバウンドを含めた観光客の入り込み数を増やす施策を継続したい。宿泊については、戻りきれていないのが現状であるが、宮城県と協力しながら目標数に近づけたい。

**問** ホームページの外国語の閲覧数が減っているが、原因は。

**企画調整課長** 令和2年度から、コロナの影響もあり減っている。最近では回復傾向であり、今後に期待している。

**問** 新聞に「子ども英語ガイド」の事が載っていたが、その内容は。

**教育長** 子ども達が、インバウンドに対してアプローチすることは前から行っており、3つの英語ガイドの作品を町のホームページに載せた。3年前から動画を載せており、合計で9作品となっている。



交通社会実験より

地域コミュニティの維持について

**問** 所信表明で人口減少対策として地域のコミュニティの維持をうたっているが、特に品井沼地区について、今後の予定は。

**町長** 集会施設の統廃合については、総務課を中心に各行政区をまわり、区長をはじめ行政員や地区住民の理解を得ながら行っている。地域コミュニティは、品井沼地区だけではなく、地区計画を進めていくには、各階層の方々の考えを、バランスをとりながら進めていかなければならない。隣接地区も含めた総体的な考え方も必要である。



菅野 隆二  
議員

町税の増加について

**問** 町税が前年に比べて約10%の1億6,300万円ほど増えていることは町民の負担増に繋がっているのではないのか。

**財務課長** コロナ特例で前年度はゼロもしくは2分の1だった法人の固定資産税の影響により増加した。個人の部分については、ほぼ横ばいと認識している。

企業版ふるさと納税について

**問** 企業版ふるさと納税額が目標に届かなかったことに対してどのような受け止めているのか。

**副町長** 1億円の目標に対して結果として至らなかつたが、引き続き営業努力をしながら、より多くの納税を町にしてもらえようように努力をしていきたい。

新型コロナウイルス感染症  
対応地方創生事業について

**問** 新型コロナウイルス感染症対応地方創生事業費で実施した35の事業を振り返っての見解は。

**町長** 多くの意見を聞き、庁舎内で様々な検討をしながら実施してきたことで大きな混乱もなく町民一人一人へ平等に支援を届けることができたと思っている。

町民バスの運営について

**問** 町営バスの運行に関して、様々な課題がある中でどのような対応を行ってきたのか。

**総務課長** 利用者が人口減に伴い年々減少している。それに対して便数や路線、バスの管理台数が増えていることが懸念事項にも課題にもなっていた。検討した結果、この町にとって大事な地域公共交通を持続可能なものにするために運行の民間委託をすることとした。

そのほかに、一般会計決算の実質収支額について、町としての障がい者雇用状況、DXの推進についてを質問。



米川 修司  
議員

### 介護保険事業計画について

**問** 令和3・4年度において保険給付費の実績が計画値を大幅に下回っているのは何故か。

**健康長寿課長** 保険給付費の実績が計画を下回るのは15年ぶりであるが、高齢者が少なからずコロナ禍を意識して利用を控えていたのが主な要因であるため、第9期介護保険事業計画を策定する際にはこの点を考慮する必要がある。

### まつしま元気塾について

**問** 前年度および当年度の参加人数が計画の8割弱に止まっている具体的な要因は。

**健康長寿課長** 新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、町の判断で休止した回が複数あることに加え、休みがちな利用者が増えたことが要因であるが、本来利用してほしい高齢者が利用できているか、新規の利用者が増えにくい環境になっていないか等、必要に応じて周知徹底していく。

**子ども家庭総合支援拠点について**  
**問** 令和4年度より新たな拠点が設置されて具体的にどのような成果があがっているか。

**町民福祉課長** 保育士や保健師などの要件を満たした上で拠点を設置しているが、支援の必要な児童や家庭の情報を教育委員会と従来どおり共有することに加え、妊婦の方や乳幼児をもつ保護者を支援する健康長寿課と情報を共有しながら対応できている。

### ファミリーサポートセンター事業について

**問** 支援活動回数が前年度と比べて半減している具体的な要因は。

**町民福祉課長** 要因の分析はできていないが、協力会員の年齢層に不安があるのか、あるいは利用会員登録までの流れが十分に周知されているのか等、この事業自体が今後必要なのかといった点も含めて検討していく。



赤間 幸夫  
議員

### 予算執行と決算について

**問** 令和4年度の決算を受けて、町長はどのような考えに基づき、今後の町政運営にあたるうえで、町の財政状況を踏まえ、どのようにつなげていこうとするのか。

**町長** 令和4年度を振り返り、認定子ども園の開園を社会福祉協議会と連携して進めてきたが、今後の運営でも更に連携していかなければならないこと、コロナ禍における国からの財政支援を町民に平等にいきわたらせてきたこと、豪雨災害対策では初動体制として町民のことを考えた対応ができたこと、初原イノベーションについて、様々な企業からの問い合わせがあり、移住施策にも繋げていき町の1つの光明になってくるのではないかと考えている。厳しい経済情勢の中でも税収を上げることができたが、単年度の黒字を積み重ね経常収支比率を下げ、財政運営に余裕が出来るようしっかりと取り組まなければならない。

### 災害・防災について

**問** 各行政区に防災倉庫が備えられ、発電機等のエンジン付き備品の維持管理の在り方について町での把握は。行政区では役員任せの管理となり、いざというときに使用不能では宝の持ち腐れになりうる。区内住民の誰でも速やかに使える状態にしておきたいが町の考えは。

**町長** 自主防災組織からは、コロナ禍のため管理が行き届かず発電機が動かからないこともあったと聞いた。町の総合防災訓練を通して、対応を行う予定である。

**危機管理監** いざ災害というときには、誰もが対応できるように地域と連携しながら、資機材の管理等々を行っていききたい。

### 補助金について

**問** 各団体等からの補助金要望に対する町長の考えは。

**町長** 自分の頭の中では、基本ゼロベースで考えていきたい。コロナ禍の影響や燃料高騰、物価高による賃金の問題等々、様々な要因があることも理解されるが、団体の経営状況等により差があることも事実である。町の財政状況と考え合せて対応する。



今野 章  
議員

**基金運用と土地開発基金の廃止は**

**問** 一般会計の財政調整基金が年度末残高で13億8,744万余円、その他基金を含めた総額は35億9,149万余円。国保財調では、保険税の引き下げも可能と考えるが、今後の基金運用の考えを伺う。

**町長** 国保財調は思惑ほど減少していない。今後、令和7年頃に保険料の県内統一が予想され、その前に基金の還元等を検討したい。基金運用は、長寿社会や庁舎改修、災害、物価高騰など考慮し慎重に対応する。

**問** 土地開発基金で幹線道路用地として土地取得したが、事業化年度は。また、開発基金による取得は議会の監視も行き届かず、特別会計への移行や廃止を考えるべきではないか。

**建設課長** 事業化は見通せず、現在は待避スペースである。

**副町長** 土地開発基金の廃止や特別会計、それに類するものの内部協議はしていないが、検討に値する。

**マイナ保険証などで誤登録は**

**問** マイナンバーカードで、他人の年金記録や公金受取口座情報の閲覧など、個人情報漏えいが発生している。マイナ保険証では、誤登録で資格確認ができず、窓口で10割負担や薬の誤投与が心配されている。本町でそうした事例はあるか。また、マイナ保険証の発行が来年から始まるが、紙ベースの保険証はどうなるか。

**町民福祉課長** 別な方との結びけなどに関して届出はなく、手続きでもヒューマンエラー的なことはなかったと把握している。

**町長** カードとペーパーと両方で進むと思うが、町民が混乱しないよう対応したい。

**シルバー人材センターへの支援は**

**問** シルバー人材センターの補助金は国の基準以下で、近隣市町村との比較では松島が最も低い。インボイス導入の影響を踏まえた支援策が必要ではないか。

**町長** 今年6月の町村会で、シルバー人材センターへの国の補助基準の見直しを宮城県に求めているが、町人材センターの運営・経営方針との考え方に相違がある。今後、すべての補助金について検討・調整したい。

## 決算審査特別委員会

現地調査日：令和5年9月27日

勤労青少年ホームと高城保育所では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した環境整備状況を確認したほか、品井沼地区の道路整備工事で北小泉地区、根廻地区のため池を視察しました。



図書室利用促進事業（教育課）



高城保育所感染症対策トイレ改修工事（町民福祉課）



品井沼地区道路整備工事（建設課）

# 監査委員決算審査報告

## 総括報告

令和4年度の一般会計、各特別会計歳入歳出決算、基金運用状況、水道事業会計決算、決算審査に基づき、概ね適正であると認める。

決算審査における会計別の主な意見等は、次のとおりである。



丹野和男代表（左） 後藤良郎議選（右） 両監査委員

## 一般会計

令和4年度は、前年度比で、歳入7億6,101万円、歳出8億1,426万円となり、それぞれ大幅に減少した。新型コロナウイルス感染症対応と、その関連支援事業のほか令和4年7月の大雨災害など各事業へ適切に対応し、かつ、経常的事務が滞ることなく関係機関と連携しながら住民サービスに努めた。

今後、人口数の自然減に伴う行政活動への影響が避けられない中、国等の支援を活用しながら財政健全化に努め、引き続き、町民や地域に寄り添った安定した行政サービスの提供を望む。

## 国民健康保険特別会計

国保加入状況は、前年度比で減少した。子ども等の均等割額全額減免や7月大雨被災の減免措置など、被保険者の事情に沿った対応に努めた。被保険者の健康意識を高め、医療費の適正化と保険基盤制度運営の安定を図りたい。

## 後期高齢者特別会計

前年度比で加入者数は増加した。近年の被保険者数の増加傾向から、制度を運営する広域連合と連携し、安定した運営に努められたい。

## 介護保険特別会計

要介護等認定者実人数は、前年度比で減少となった。介護職の減少と超高齢化の中、地域包括ケアシステムの取組みを強化し、介護保険基盤の安定に努められたい。

## 観瀾亭等特別会計

来客数は、前年度比で大幅に増加となった。新型コロナウイルスの影響で減少した観光客数が回復傾向にある。安全で安心な観光地の確保と多様化する顧客ニーズや地元資源の活用などを、商工会や観光協会等と連携して情報発信等に努められたい。

## 下水道事業特別会計

本会計は、公営企業法会計へ移行したことから、打ち切り決算となった。

近年、有収水量が増加傾向にある。経営環境の変化に対応した運営と、近年多発する大雨等の雨水排水対応や施設の適切な管理を引き続き求める。

## 水道事業会計

本会計は、概ね安定した経営となっているが、今後、他配水池等の更新を控え、企業債償還も令和9年度に償還のピークを迎えるなど経営環境は厳しいものがある。今後の町人口要因に適合した配水計画を見直しするなど、健全な経営と経常的に安全な水道供給を望む。

## 財政健全化判断比率及び資金不足比率

令和4年度決算における各指標の比率は、早期健全化基準及び経営健全化基準を下回り、基準内であった。各指標の比率は、左表のとおり。

### 町の財政状況は基準内です

財政健全化判断比率（普通会計）（単位：％）

指標の名称	松島町の健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	-	15.00
連続実質赤字比率	-	20.00
実質公債費率	6.8	25.00
将来負担比率	-	350.00

資金不足比率（公営企業会計）（単位：％）

会計の名称	松島町の資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	-	20.00
下水道事業特別会計	-	20.00
観瀾亭等特別会計	-	20.00

※財政健全化判断比率、資金不足比率の「-」と表示されている各比率は基準以下であることを示します。

企画調整



松島町公式ホームページのトップ画面

**問** 前年と比較してホームページへのアクセス数が下がっていることに対してどのような分析や対策をしているのか。

**企画調整課次長兼デジタル推進室長** 様々な情報媒体があることから、そこに分散していることと捉えている。日々改善を重ねて、今後も見やすいホームページづくりに努めていきたいと考えている。

**問** 行政役員懇談会で要望のあった62件に対して、しっかり対応できているのか。

**企画調整課次長兼デジタル推進室長** 6割から7割程度は少なくともアクションを起こしている。すでに解決しているものもあれば、すぐには解決が難しいものもある。

**問** 再生可能エネルギー導入における条例制定に関して、どのような検討を行っているのか。

**企画調整課次長兼デジタル推進室長** 再生可能エネルギー導入における町の関わり方や条例の制定について検討をしている段階である。

**問** 高齢化の影響で統計調査員の確保が大変厳しい状況であるが、必要人数に足りているのか。

**企画調整課長** 統計調査員の年齢の高齢化に関する問題はかねてからの課題である。若返りを図りながらプラス5名程度の約30名の確保を目指している。

ホームページのアクセス数減少への分析や対策は

総務・環境防災

**問** 集会施設の維持管理で駐車場に砂利を敷く場合、補助金はあるのか。

**総務管理班長** 地域に補助金を出すのではなく、その都度、地域の方々と話し合い、町の責任において実施を検討していきたい。

**問** 騒音、臭気の苦情相談等が寄せられた場合の対応として、町は簡易測定器などを持って対応にあたるのか。

**環境防災班長** 町で測定器は所有していない。相談があった場合は、職員が状況を確認し、保健所で測定器を持っていくので共に改善を図る。

**問** LEDの防犯灯の新設工事の場所はどこか。

**環境防災班長** 町はLEDの防犯灯を通学路に設置するように進めており、松の杜地区の十字路交差点から認定こども園方向と運動公園方向に計6基新設した。

**問** 町では町内で飼われている犬の頭数を把握し、狂犬病の予防注射を適切に行っているのか。

**環境防災班長** 町に登録して狂犬病の予防注射を毎年打つよう法律上決まっている。中には把握できていない犬もいるかもしれないので、情報提供をお願いしたい。



LED防犯等が新設された松の杜地区十字路付近

騒音・臭気の苦情の対応は

## 産業観光



### 農作物の鳥獣被害の実態調査を

**問** 農作物の鳥獣被害が増えているが、対策は。  
**産業振興班長** 現在5名の自治隊員で活動しており、特に被害が集中している地域においては、イノシシ捕獲用箱わなを設置し捕獲に至っている。引き続き隊員と協力し被害を軽減させる対応を行っていく。

**問** 農業が太陽光の用地へ農地転用されている状況を今後どのように考えるか。  
**産業振興班長** 昨年、太陽光施設に関わる農地転用は16件と把握している。設置は地域の方々へ説明会等で協力を求めているが、農地は個人の財産であり適法な手続きであれば、町として規制は難しい。

**問** 観光地松島において、松島に宿泊するにしても夜のコンテンツが少ないのではないか。  
**観光班長** 夜の仕組みづくりは町の課題である。現在は、紅葉ライトアップが本町の目玉の1つであるが、様々なライトアップ企画を県内だけでも多くの都市で実施されおり、松島だからこそその仕組みが出来れば観光客の足が向いてくれると考える。

**問** 松島×探求ツアーパックの具体的な内容と成果は。  
**観光班長** 教育旅行誘致に向け、観光施設の様々なコンテンツをパンフレットへまとめたものである。既に本町、宿泊施設にも受入れ人数等の相談が来ており、引き続き積極的な誘致の情報発信を行っていく。

## 財務

### 町内業者の受注機会の状況は

**問** 令和4年度の契約件数の本数と町内業者の割合を伺う。  
**財政班長** 工事が入札41件、随意契約4件の計45件のうち、町内業者が入札41件中24件、随意契約4件中2件である。業務委託は入札87件、随意契約81件の計168件のうち、町内業者が入札87件中31件、随意契約81件中28件である。

**問** 同規模自治体よりも住民1人当たり約5万円の行政コストがかかっている要因は。  
**財政班長** 下水道事業や特別会計への繰出金がほかの同規模自治体よりも多いことによる結果である。収支バランスの適正化を図ること、この差は埋めていくのかもしれないが、明確に答えることは難しい。

**問** 住宅を解体して空き地にした場合、固定資産税はどれくらいアップするのか。  
**税務班長** 住宅用地が更地になった場合は、宅地の0.7掛けという形が適用される。家屋が建っている場合は住宅用地特例で200平方メートルまで評価額が6分の1になるが、家屋が撤去されて更地になると特例がなくなり税額が高くなる現状である。

**問** 災害で被災した場合の罹災状況の判定はどういう形で行われているのか。  
**税務班長** 罹災者からの調査依頼を受けて、現場で調査を実施し、壊れ具合によって点数をつけている。その点数を基準にして半壊、全壊などという形で判定している。



健康長寿

町民福祉

令和5年度  
チャレンジ松島!  
健康ポイント

実施期間:5月1日~10月31日  
記念品引き換えは9月1日~11月30日まで

ポイントを集めて「健康」と「記念品」を手に入れよう!  
記念品は毎年かわります▼

令和4年度の記念品  
スリムレスボトルと  
ミニクッキー(6個)  
パック

参加の方法 18歳以上の町民限定

- 1 ポイントカードを準備しましょう!  
下記の点線で切り取ってカードにします。(町内の公共施設で6配付しています。)
- 2 ポイントを集めましょう!  
運動や健康診断の受診、運動施設の利用でポイントがたまります。
- 3 記念品をもらいましょう!  
100ポイント集めたらポイントカードを役場町民福祉課または保健福祉センターどんぐりにお持ちください。その場で記念品を贈呈します。(0と1回のみ。先着100名限定)
- 4 さらに!! 参加した方の中から抽選で5名様に地場産品をプレゼントします!  
当選した方には12月中に連絡を差し上げます。

健康ポイント事業のチラシ

町民の健康づくりについて

**問** ウオーキングマップ普及事業で4種類のコース中、熊の出没地点がある。町民の安全のための見直しを。  
**健康づくり班長** 熊には十分気をつけてもらいたい。当初からだいたい道路が変更になっており、見直しをかけている。

**問** 健康ポイントについて、生活習慣病予防のためウォーキングの機会を増やしながらポイントをもらう楽しい企画を考えては。  
**健康づくり班長** 少しずつ参加者が増えており、初年度より20名ほど増えている。ポータルポイントなどを工夫し検討する。

**問** まつしまの食育通信の内容の検討などは。  
**健康づくり班長** 食育通信については、ホームページに公開し、参考にさせていただけるよう検討をする。

**問** 住民票等のコンビニ発行について交付率の目標値と具体的な成果は。  
**町民サービス班長** 令和4年度導入当初は5%を見込んだところ、現在は10%以上に達しているが、マイナンバーカード普及率と合わせて更に引き上げる必要がある。なお、コンビニ発行を導入することにより夜間窓口を閉鎖することができた。

**問** 受付・呼出用タブレットやレシートプリンタを導入してどのような効果が生じたか。  
**町民サービス班長** プリンタから番号が発行されて順番が明確になったことに加えて、自分が呼ばれるまで待機する必要がなくなったことにより、窓口付近での待機人数が少なからず減少した。なお、タブレット操作に不慣れな高齢者でも操

作できるような案内を工夫している。  
**問** 新生児給付金事業についてコロナ交付金終了後も別途予算化して継続する予定は。  
**町民福祉課長** 令和2年度よりコロナ交付金を原資に「新生児給付金」として一律10万円支給していたところ、令和4年度途中より国の経済的支援として「出産・子

窓口の混雑緩和に向けての取組み状況は

育て応援給付金」を別個に10万円支給することになったが、来年度もこの事業をできるだけ続けられるよう検討する。



地方公共団体情報システム機構 HP より

# 各課に問う

## 教 育



勤労青少年ホーム

**問** 令和4年度の育英基金利用者はゼロであるが、今後、増やすための方策は。

**教育課長** 今後、周知徹底する。

**問** 勤労青少年ホーム図書室は、エアコンがないため夏期利用が難しい。空調整備などの考えは。

**教育課長** 教育課所管の施設全体で検討していく。

**問** 温プールの利用人数について、町内の利用が少ない。今後のアピールや周知は。

**生涯学習課長** 町の後援により協力体制や集客をどう考えるか。

**生涯学習課長** 町の後援により集客の後押しができていないが、今後団体と話し合いながら進めていきたい。

**問** 品井沼千拓資料館の令和4年度の有料利用はゼロだった。今後利用増に向けた対策はあるのか。

**生涯学習課長** 子ども達は見学に来ているが、会議室を利用していない。今後周知していく。

**問** 給食の委託料で複数年契約の金額に変更はないが、食材高騰の中で子供たちの給食に影響はないのか。

**学校給食センター所長** 食材の契約は、業務に含めず賄い費で対応している。

## 建 設

### 町営住宅・災害公営住宅の現状は

**問** 町営住宅敷金の状況は。

**管理班長** 災害の際に入居した方の敷金は頂戴してない。生活保護者は敷金を手当として支給され、その分で納入している。

**問** 現在の空き家の戸数、募集しない戸数は。

**管理班長** 管理戸数208戸に対して入居戸数が168戸、40戸が空き家になっている。令和4年度末で上

初原、幡谷で募集しない住宅として22戸ある。

**問** 災害公営住宅は空室となった時、一般住宅として募集しているのか。

**建設課長** 災害公営住宅は一般の入居も始めている。空室になったところは募集をかけながら抽選で入居となる。

**問** 災害公営住宅家賃の改定は。

**建設課長** 入居5年目から段階的に引上げとなり、今、3年目までできています。5年かけて段階的に上げていき、最終的には一般住宅と同じ家賃水準となる。

## 下 水 道

### 町全体の雨水路の見直しは

**問** 高城地区の低地は大雨が降るたび浸水の心配をしなくてはならない。雨水対策を見直さない限り、安定した生活はできない。定住を図るためにも、早期に見直しすべきと思うが。

**水道事業所長** 分水計画は、予算や事業計画規模が多大なことから、県と協議をしている。

**副町長** 雨水の排水計画は水道事業所で着手していないということではなく、膨大な費用と課題が多くて前に進まないところがある。ご理解をいただき、早期の見直しに着手して進めたい。

### 施設の活用を進めていくには

## 一般会計

## 討論

### 反対

今野 章  
議員

7月の豪雨災害、コロナ禍からの回復途上での食料品・燃料・光熱費など物価高騰が吹き荒れ、町民には大打撃の年となった。町は、物価高騰への経済的支援を行ったが、低所得世帯に対する継続的な支援が必要だった。今年10月から消費税インボイス制度が始まったが、あらたな増税であり制度の延期や中止を求めるべきである。

人事院勧告に基づく職員給与・期末手当の引下げは、災害対応、物価高騰の中で行うべきでなかった。土地開発基金による土地取得は、議会の議決を経ず執行され運用の実態が見えにくい。新たな運用を考えるべきである。育英基金は利用人数も少なく、給付型の奨学金制度など検討すべきである。障害者医療費助成制度の窓口無料化を県に強く求めるべきである。農業などで生活できる価格補償や所得の補償を実現すべきである。

### 賛成

菅野隆二  
議員

コロナ特例が終了したことにより、町税全体で増収となったものの人口減少に伴う落ち込みも見込まれるなど、今後も含めて大変厳しい財政であったと思われる。

新型コロナウイルス感染症や令和4年7月の大雨被害への支援、更には世界的な燃料費高騰とそれに伴う物価高が町民生活を直撃し、町政運営も様々な制約下におかれる状況の中でベストではないかもしれないが、ベターな予算執行で一定の成果をあげた令和4年度の決算は評価に値する。各事業においても町民が必要としている諸課題に困難を乗り越えて適切に対処し、未来に向けて新たに挑戦していることも感じられた。

現在の町政運営には変化の激しい社会経済情勢への迅速かつ柔軟な対応が求められている。引き続き、町民の利益を第一に考えた町政運営への期待も込めて賛成とする。

## 後期高齢者医療特別会計

### 反対

今野 章  
議員

後期高齢者医療では、昨年10月から単身世帯で年収200万円以上、75歳以上の夫婦世帯では合計年収320万円以上を対象に医療費の窓口負担を2割負担とし、これにより国は、医療給付費が年間1,050億円も削減できると試算しながら高齢者に負担増を強いたのである。これは高齢者の命を削り、命の尊厳を脅かす政策である。

高齢になれば病気になるのは当たり前である。複数の病気を抱える人も多く、その分医療費も多くなる。

一方、支給される年金は減らされ厳しい生活を強いられる中、物価高騰などで高齢者の生活はますます大変に。国は、社会保障費を削減することばかりで税金の集め方と使い方をめと国民に寄り添った形に変えるべきである。高齢者に我慢と犠牲を強いる後期高齢者医療制度は、直ちに廃止すべきである。

### 賛成

米川修司  
議員

窓口負担割合の見直しについては、令和4年度より団塊の世代が75歳以上となり始め医療費の増大が見込まれる、後期高齢者の医療費のうち約4割は現役世代の負担となっており今後も拡大する見込みである、といった情勢を背景に、現役世代の負担を抑え、国民皆保険を未来へつないでいくため、今回の見直しはやむを得ないと理解する。なお、2割負担は一定以上所得のある方に限られ、令和7年9月まで医療費の負担を抑える配慮措置がある。

本町においては今後も引き続き、後期高齢者の生活実態を適時に把握し家計が急変することのないよう注視すること、今後も被保険者数が増加する見込みであることから制度を運営する広域連合と介護保険事業と連携しながらその運営に努めること、以上を町へ要望しつつ今回の議案に關する賛成の討論とする。

# 議会は進言する

## 町への意見・要望

### 〔総務課所管〕

#### ○職場環境について

健康診断の結果、異常なしの職員が2%しかない。町では研修を行っているが、高ストレスの割合が増加傾向にあることから、日頃からストレスを生まないよう、時間外労働の軽減や職場環境のさらなる改善を望む。

#### ○防犯指導隊員について

地域の安全、安心の観点から防犯指導隊員の役割は重要である。各地区の連携を強め、なり手不足を補う上からも、交通安全指導員と同じように防犯指導隊員の待遇改善を望む。

### 〔企画調整課所管〕

#### ○再生可能エネルギー施設設置に関する条例について

宮城県では「太陽光発電施設の設置等に関する条例」を制定しているが、本町の実情を鑑みた場合、十分とはいえない。

令和4年に総務経済常任委員会から出された所管事務調査報告書でも提言していることから、本町の環境に合わせた条例を制定すべきである。

### 〔産業観光課所管〕

#### ○農業振興について

農業従事者の減少により、農地や山林の荒廃は深刻である。新規就農者の増加や相談業務の充実を図るとともに、町として継続的に農業に従事できるよう支援の拡充をすべきである。

また、山が荒廃することで鳥獣被害が多くなっていることから、実態調査を行い、効果的対策を講じることを望む。

### 〔水道事業所・建設課所管〕

#### ○大雨による浸水対策について

大雨が降るたびに浸水する地域の住民は、安心して生活ができず定住もままならない。早急に町の現状を整理し、目標を立てて方向性を示すべきである。

また、抜本的解決には多くの時間と費用がかかることから、少しでも被害を軽減するため、こまめな側溝・雨水路の清掃や勾配の調整など、今できることを実施すべきである。



令和4年度決算審査特別委員会  
櫻井靖委員長

# 議案 審議

## 松島町町税条例の一部改正

### 令和6年度から森林環境税を徴収

議案第53号  
松島町町税条例の一部  
改正について

#### 質疑

**赤間幸夫議員** 特定都市  
河川浸水被害対策法の貯  
留機能保全区域を指定さ  
れた土地固定資産税の課  
税標準の特例措置見直し  
などを伺う。

**危機管理監** 今年、特定  
都市河川の指定を受けた  
ことを踏まえて、8月に  
流域水害対策協議会が設  
置された。提案区域の策  
定計画は令和6年度に完  
成予定。今後、区域等住  
民説明を行う。

**財務課長** 国の基準を参  
酌して4分の3となる。

**今野章議員** 森林環境税  
の活用方法と仕組みはど  
のようになるのか。

**産業観光課長** 森林整備  
における鳥獣被害・森林  
病害虫対策を参考に、雁  
金森周辺に抵抗性松を植  
樹した箇所の下刈りなど  
を実施した。

**財務課長** 森林環境税は、  
町民1人あたり千円を町  
で賦課徴収し、県を通し  
て国の特別会計に納入さ  
れる。試算で6百億円が  
森林環境譲与税。県に1  
割、市町村に9割が森林  
環境譲与税として配分さ  
れる。報道では、人口が  
多い東京周辺にかなりの  
森林環境譲与税が交付さ  
れており配分見直しの情  
報も入っている。

**町長** 森林環境贈与税に  
関して、人口が少ない長  
野・岩手両県から税率見  
直し要望があり、税率配  
分は見直されていくので  
はないか。

#### 討論

**反対討論** 今野章議員

森林環境税を創設する  
目的は、地球温暖化の防  
止や災害の防止、国土の  
保全など森林の持つ公益  
機能を維持し推進を図る  
こととされており、この  
ような仕組みが必要なこ  
とは十分に理解をするが、  
国民には低所得でも課税

する一方、温室効果ガス  
の排出に大きな責任を負  
うべき大企業には負担ゼ  
ロという状況である。ま  
た、自治体への配分基準  
では、人口指標の割合が  
林業従事者数の割合より  
も高く設定をされ、都市  
部に多額に配分される問  
題が指摘をされている。

森林の公共的、多面的機  
能を考え、森林整備の安  
定的な財源は、国の一般  
会計である林業予算の拡  
充によって賄うべきであ  
り、森林整備等の需要が  
ある自治体への地方交付  
税の拡充によって進める  
べきと考える。

**賛成討論** 櫻井靖議員

森林環境税の配分基準  
は今後、見直しされるこ  
とを期待して賛成とする。

賛成多数・可決

議案第55号  
松島町放課後児童健全  
育成事業の設備及び運  
営に関する基準を定め  
る条例の一部改正につ  
いて

#### 質疑

**米川修司議員** 放課後児  
童支援員の資格要件、実  
務経験を前提に放課後児  
童支援員認定資格研修を  
2年以内に修了を予定し  
ているが、2年という期  
間は、認定資格研修内容  
など考慮し、十分な期間  
なのか。

**町民福祉課長** 研修4コ  
マで取得でき、現場に2  
年いれば十分に取得でき  
る期間だと思う。

**赤間幸夫議員** 職員とし  
て採用され、今後、児童  
支援員になるための受験  
する場合、町の公費で研  
修をして、資格認定を受  
けるものか。職務に専念  
する義務の免除の措置、  
人事配慮上も含めて、行っ  
ているか伺う。

**町民福祉課長** これまで  
も自身が得られる資格と  
して自己負担で研修を受  
けてもらっている。また、  
指定管理者側で、旅費等  
も負担しながら実施して  
いる状況である。

賛成全員・可決

このほか、議案第54号  
松島町特定教育・保育施  
設及び特定地域型保育事  
業の運営に関する基準を  
定める条例の一部改正に  
ついて、議員提案第4号  
松島町議会委員会条例の  
一部改正について、賛成  
全員で可決されました。



認定こども園運動会

# 地域計画策定に伴う目標地図を作成

## 地域農業のあり方や農地利用を明確化

### 補正予算

議案第56号

令和5年度松島町一般  
会計補正予算(第4号)

○(都) 根廻・初原線道路  
測量設計業務委託料

4,600万円

○移住支援金

120万円

○新規就農者育成総合対  
策事業

150万円

○農地利用目標地図素  
作成業務委託料

173万円

○市町村初期投資促進事業

370万円

### 質疑

(都) 根廻・初原線道路  
測量設計業務委託料につ  
いて

赤間幸夫議員 初原側の  
工事開始から完了までの  
見込みは。

建設課長 令和8年度か  
ら用地買収と工事を開始  
し、約3年後の完了を見  
込んでいる。

移住支援金について

後藤良郎議員 増額補正  
する要因は何か。

企画調整課長 当初は1

世帯分を予算計上してい  
たところ、子ども一人当  
り30万円の加算が発生す  
ることによる。

新規就農者育成総合対策  
事業について

高橋幸彦議員 補助金支  
給の対象人数とその就農  
形態は。

産業観光課長 対象人数

は1人であり、その親族  
が使用していた農地をそ  
のまま受け継いで就農し  
ている。

農地利用目標地図素案作  
成業務委託料について

今野章議員 対象区域や  
対象人数、地域計画の作  
成時期は。また、市町村  
初期投資促進事業とは。

産業観光課長 対象区域

は市街化区域を除く全域、  
対象人数は地権者約30  
0人及び耕作者約600  
人として、令和6年度末  
までに地域計画を策定す  
る。また、初期投資促進  
事業とは新規就農者が購  
入する農機具代を補助す  
る事業である。

施設型給付金について

桜井ていこ議員 補正額  
が多いのは、子どもが他  
自治体へ通所する人数が  
想定を超えたからか。

町民福祉課長 前年度の

実績から1人増やして予  
算を組んでいたが、実際  
は5人も増えている状況  
である。

予防接種健康被害救済制  
度給付金について

菅野隆二議員 ワクチン  
を接種してから被害が認  
定されるまでどのくらい  
日数がかかるのか。また、  
給付対象の人数は。

健康長寿課長 令和3年

7月に接種した後、町へ  
の相談を経て令和4年4  
月に申請し、今年7月に  
認定となった。町に相談  
した4人のうち、申請に  
至ったのは1人である。

賛成全員・可決

議案第61号

令和5年度松島町松島  
区外区有財産特別会計  
補正予算(第1号)

### 質疑

赤間幸夫議員 現行の区  
有財産特別会計について  
今後の見通しは。

財務課長 現在は高城区  
と幡谷区が残っているが、  
今年度中に特別会計の廃  
止を予定している。

賛成全員・可決



# 委員会構成が変更されました

松島町議会議員補欠選挙で中島一都（なかじまかずと）議員が当選され、議席は5番に決定されました。

なお、委員会の構成委員が一部変更となりました。



5番  
なかじま 一都  
中島

5番中島一都議員は、総務経済ならびに広報広聴常任委員、7番赤間幸夫議員は、議会運営委員に選任されました。

議会運営委員会				広報広聴常任委員会				総務経済常任委員会					
				広報分科会									
委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
片山正弘	阿部幸夫	赤間幸夫	桜井ていこ	櫻井靖	今野章	高橋利典	小澤陽子	中島一都	桜井ていこ	米川修司	菅野隆二	櫻井靖	菅野隆二

## 人事案件

松島町副町長：同意

《再任》

熊谷清一氏  
（松島町磯崎）

《再任》

桔梗元子氏  
（松島町高城）  
安曇浩一氏  
（松島町幡谷）

《新任》

鈴木由美子氏  
（松島町磯崎）  
亀山祐司氏  
（松島町松島）

人権擁護委員：適任と答申

令和5年度

第1回臨時会（7月10日）

人事・臨時会

議案第50号

工事請負契約の締結  
【松島町保健福祉センター  
―大規模改修工事―】

## 質疑

**赤間幸夫議員** 応札業者は1者のみか。また、令和7年度までの債務負担行為で各年次に着工される内容だが、保健福祉センターを休業することなく工事を進められるのか。

**建設課長** 1者のみの応募である。工事の工程では8月から12月頃まで使用できない期間がある。空調設備関係を施工する関係で暖房が使えなくなるが、業者と相談しながら対応を考えていく。

**小澤陽子議員** 過去の決算資料を確認したところ何回か修繕している。その当時、下請業者を含めて同じ業者となるのか。

**建設課長** 施工業者と詳細の打合せをしていないので確認できない。  
賛成全員・可決

議案第51号

工事請負契約の変更  
【（都）根廻・初原線道路整備工事】

## 質疑

**赤間幸夫議員** 今回は請負比率で増工を進めているが、当初の発注工区を進捗させる上で変更が生じた場合、現予算または補正等での対応になるのか。また、治水対策はどのように進めていくのか。

**建設課長** 当初は300メートル区間で補助事業費の満額に近い形で工事を発注している。請負率は72%程度だったので増額とした。工事は次年度も継続するので進捗できない箇所があれば相談しながら進めていきたい。

防災工事に関しては、国道346号交差点の切土部分のため池の堤体が去年7月の雨で被災している。水利組合など関係者に確認をして進めていきたい。埋めると防災機能が保全できなくなるので、工区境から300メートルと270メートル付近のため池や山の沢の奥にもため池があるので、低水管理しながら、治水対策を考えていきたい。  
賛成全員・可決

# 令和5年 第3回 定例会 提出議案 (9月議会)

議員提案第4号 松島町議会委員会条例の一部改正について  
常任委員及び議会運営委員の任期の改正

議案第52号 令和5年度松島町一般会計補正予算(第3号)  
町議会議員補欠選挙費用の補正について専決処分の承認

議案第53号 松島町町税条例の一部改正について  
森林環境税の導入に伴う賦課・徴収方法等についての改正

議案第54号 松島町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について  
こども家庭庁設置法に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う改正

議案第55号 松島町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について  
放課後児童支援員とみなすことのできる内容の変更に伴う改正

議案第56号 令和5年度松島町一般会計補正予算(第4号)  
町有地法面崩落防止事業、(都)根廻・初原線道路整備事業等の補正

議案第57号 令和5年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)  
令和4年度決算に伴う繰越金及び一般会計繰出金の補正等

議案第58号 令和5年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)  
令和4年度決算に伴う繰越金及び一般会計繰出金の補正

議案第59号 令和5年度松島町介護保険特別会計補正予算(第2号)  
令和4年度決算に伴う繰越金及び一般会計繰出金の補正

議案第60号 令和5年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第1号)  
令和4年度決算に伴う繰越金の補正

議案第61号 令和5年度松島町松島区外区有財産特別会計補正予算(第1号)  
令和4年度決算に伴う繰越金の補正

議案第71号 松島町副町長の選任につき同意を求めることについて  
熊谷清一氏の松島町副町長の選任について同意

諮問第2号～諮問第5号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(4件)  
桔梗元子氏、安曇浩一氏、鈴木由美子氏、亀山祐司氏の人権擁護委員候補者への推薦について答申

## 令和4年度各種会計決算認定

議案第62号 令和4年度松島町一般会計歳入歳出決算認定

議案第63号 令和4年度松島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

議案第64号 令和4年度松島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

議案第65号 令和4年度松島町介護保険特別会計歳入歳出決算認定

議案第66号 令和4年度松島町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定

議案第67号 令和4年度松島町観瀾亭等特別会計歳入歳出決算認定

議案第68号 令和4年度松島町松島区外区有財産特別会計歳入歳出決算

議案第69号 令和4年度松島町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定

議案第70号 令和4年度松島町水道事業会計決算認定

報告第3号 令和4年度松島町健全化判断比率について

報告第4号 令和4年度松島町資金不足比率について

# 令和5年 第1回 臨時会 提出議案 (7月10日)

議案第50号 工事請負契約の締結について  
工事名 松島町保健福祉センター大規模改修工事  
契約金額 506,000,000円  
契約相手 株式会社 深松組

議案第51号 工事請負契約の変更について  
工事名 (都)根廻・初原線道路整備工事  
変更後の金額 125,669,500円(34,666,500円増)  
契約相手 大木建設株式会社 東北支店

# 議 案 採 決 結 果 表

**表の見方** ①採決結果 : 賛成全員(可決または採択) → 「全」 賛成多数(可決または採択) → 「多」  
 賛成少数(否決または不採択) → 「否」  
 ②各議員の表決: 賛成 → ○ 反対 → × ③その他: 欠席 → 欠 退席 → 退 議長 → 議

## 令和5年第3回定例会

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	菅野隆二	米川修司	櫻井靖	桜井ていこ	中島一都	後藤良郎	赤間幸夫	高橋幸彦	阿部幸夫	今野章	小澤陽子	片山正弘	高橋利典	色川晴夫	賛成	反対	
議案第52号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度松島町一般会計補正予算(第3号))	9月22日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議	12	0	
議案第71号	松島町副町長の選任につき同意を求めることについて		同意														議			
諮問第2号 ～諮問第5号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて		適任と答申														議			
議案第53号	松島町町税条例の一部改正について	9月25日	多	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	○	○	議	9	4	
議案第54号	松島町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第55号	松島町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第56号	令和5年度松島町一般会計補正予算(第4号)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第57号	令和5年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第58号	令和5年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第59号	令和5年度松島町介護保険特別会計補正予算(第2号)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第60号	令和5年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第1号)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第61号	令和5年度松島町松島区外区有財産特別会計補正予算(第1号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0	
議案第62号	令和4年度松島町一般会計歳入歳出決算認定について	10月5日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議	11	2	
議案第63号	令和4年度松島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第64号	令和4年度松島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議	12	1
議案第65号	令和4年度松島町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第66号	令和4年度松島町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第67号	令和4年度松島町観瀾亭等特別会計歳入歳出決算認定について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第68号	令和4年度松島町松島区外区有財産特別会計歳入歳出決算認定について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第69号	令和4年度松島町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第70号	令和4年度松島町水道事業会計決算認定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0	
議提第4号	松島町議会委員会条例の一部改正について	10月6日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議	12	0	

## 令和5年第1回臨時会(7月10日)

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	菅野隆二	米川修司	櫻井靖	桜井ていこ	杉原崇	後藤良郎	赤間幸夫	高橋幸彦	阿部幸夫	今野章	小澤陽子	片山正弘	高橋利典	色川晴夫	賛成	反対	
議案第50号	工事請負契約の締結について【松島町保健福祉センター大規模改修工事】	7月10日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第51号	工事請負契約の変更について【(都)根廻・初原線道路整備工事】		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0

採決表



よね かわ しゅう じ  
米川修司 議員

# 問 タウンミーティングの開催を含め 住民参加に関する基本的な対策は

## 答 町民の声が直接町に届く懇談の場を 活かして町が一丸となって取り組む



**問** 移住定住の促進について、町が地域おこし協力隊の受入れを判断するまでの具体的な要件は。

**町長** 東松島市で法人を設立して一次産業に取り組み協力隊のように、3年後に起業するための具体的目標を初めから持っている入隊希望者が現れれば推奨していく。

**問** 教育子育て環境の充実について、今後の人口動態や教育環境の情勢変化を見極めつつ、学校施設の在り方を検討する時期に入っているのでは。

**町長** 町として人口配置をどのように考えるかを含め、築年数などを考慮して「学校の在り方検討委員会」を立ち上げることも視野に入れて、小中学校の今後について具体的に検討していく。

**問** 観光事業の活性化について、松島“湾”グリーンランド構想を中心に、広域観光の充実に関して町は現在の達成状況をどのように認識しているか。

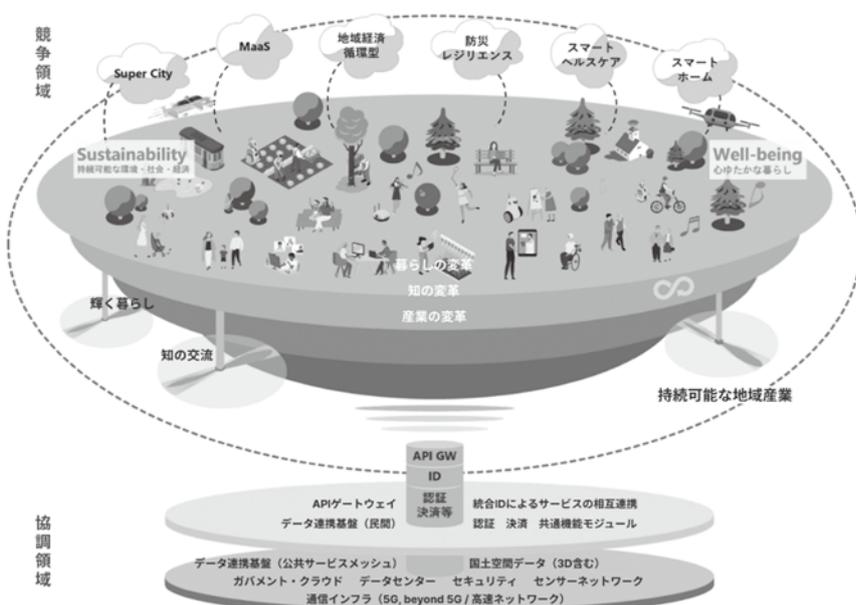
**町長** コロナ禍が長く続いたことで各組織間の繋がりが深まっており、交通社会実験においても三市三町が食や文化など様々な面で一致団結していることから、今後は観光においても良い影響を及ぼすと認識している。

**問** 新たな産業の創出について、足元の一次産業においてはその衰退を防いで持続可能な産業とするべく、町は具体的にどのような成果をこれから求めていくのか。

**町長** 国の施策がまだ目に見えない形で町まで下りていないように見受けられるため、国が後継者の意欲を掻き立てるプランを示すよう今後も要望していく。

**問** DXの推進について、更なる利便性の向上や効率化をとおしてどのようなまちづくりを目指しているのか。

**企画調整課長** 開庁時間を気にせずに手続きできるオンラインシステムや、マイナンバーカードを活用した技術等を通じて、町民が本当の利便さを実感できるまちづくりを目指している。



デジタル田園都市国家構想のイメージ



さくらい 桜井ていこ 議員

# 問 今後の住宅政策について

## 答 住宅の需要が高まると考える

**町長** 宮城県仙塩広域都市計画における当該地は、宅地目的の土地利用区域外で住宅整備の市街化区域編入は難しいが、松島イノベーションヒルズの整備により、住宅の需要が高まっていくと考えられる。

**問** 松島イノベーション構想で、新たに働く場所ができ、町外から移住定住者を呼び込むために必要な住宅政策が必要不可欠と考える。新たな住宅政策のほか、現在の桜渡市街化調整区域の見直しの検討について。

**問** 町内の空き家件数は。また、対策として農地や空き家の移住促進や地域資源とした活用を検討してはどうか。

**町長** 農地・空き家が増えていることは、認識している。すぐに空き家バンク登録とするのではなく、広報をおして空き家の賃貸などについて活用できるような情報の収集を図る。

**企画調整課長** 平成28年度の実態調査で町内12行政区386件と確認している。

**問** 空き家対策として近隣の町村では補助している。当町の施策について伺う。

**企画調整課長** 定住補助金、新築住宅・中古住宅の補助金上限25万円を補助する制度がある。

**問** 現時点の町営住宅の状況で建築年数、整備状況、入居年数は。また、耐用年数を経過した住宅はどうするのか。

**建設課長** 愛宕、上初原幡谷、小石浜住宅は木造で築50年以上。高城団地は築40年、新高城団地は築28年で、多くは当初より入居されており、補修で維持している。木造住宅は、解体を予定しているので高城団地へ移転を勧めている。



空き家 (環境省 HP より)

**問** 処理水の海洋放出による影響について町の対応は

**答** モニタリングを確認しながら安全性をチェックしていく

**問** 生牡蠣出荷時期を迎え、歳暮の時期に知人友人に送る機会が多くなる。消費者の不安を払拭するための対策は。また、安全シール等の表示などの施策は。

**町長** 国や宮城県に食の安全PRをお願いする。水産物・海産物については、安全性を公表しているっており、町としての対策は考えていない。

**問** 中国の水産物輸入の全面的禁止の影響で、嫌がらせ電話の状況は。風評被害の対応について伺う。

**産業観光課長** 町内事業者へ嫌がらせ電話は20件程度。訪日外国人観光客は紅葉時期の東北の温泉などを目的とされているので観光業界で大きな影響はない。今後、第三者の評価をいれて、安全性を確認する。



安心安全な海を・・・



議員 二 隆 野 菅

# 町の事業として学童保育での昼食提供を

## 答 今すぐに対応するという考えはない

**問** 町内の長期休暇中の学童保育における現在の昼食提供状況を伺う。

**町民福祉課長** 現在は留守家庭児童学級を開級している週6日、弁当の持参をお願いしている。

**問** 仙台市の弁当提供の実証実験や保護者有志の方々から要望を受けてどのような検討を行ったのか。

**町民福祉課長** 全体の小学校の児童数の割合から留守家庭児童学級に通級している子どもは約28%である。その子どもだけにスポットを当てて町は対応支援をしていくべきなのか、また、実施した場合の経費の試算も含めて検討を行った。

**問** 町の事業として早急に取り組む必要があるのではないか。

**副町長** 様々な検討をした結果、今すぐに対応するという考えはない。給食費も含めた子どもに對しての支援は引き続き全体的に捉えながら考えていきたい。

**問** 保護者会や有志の方が実施する場合、町としてどんな支援ができるのか。

**町民福祉課長** 食数に応じて対応してくれる業者をみつけるのが一番重要になってくる。可能であれば保護者の方と一緒に業者を探したり、調整したりする役割の部分の支援を試みたい。



子育て世帯の弁当作りの負担軽減を

# 保育園留学の県内初導入を

## 答 前向きに導入を検討したい

**問** 企業誘致によって見込まれる新たな雇用者が町内への移住を希望した場合、町内で住居を確保できるのか。

**町長** 住居の確保については現在、地区整備計画を作成している品井沼地区での整備を誘導的に進めていく。また、新たな居住区域を確保するために愛宕駅周辺の土地利用についても検討している。

**問** 土地の整備と併せて買い物の利便性の確保も重要と考えるが、官民連携して地域のコミュニティ拠点としても利用できる形でコンビニなどを誘致する考えは。

**企画調整課長** 買い物の利便性の確保は大きな課題であると捉えている。品井沼地区を1つのモデル地区として地域の課題と併せて小売店の出店の可能性を現在、検討を進めている。

**問** 地域活性化の切り札とも呼ばれている関係人口の増加を狙い、子育て世代に移住体験をしてもらえる形の保育園留学を県内初で導入する考えは。

**町長** 町としても保育園留学を導入することで継続的に関わりを持つていただける関係人口が増えると考えている。今後ニーズが高まると思っているので前向きに導入を検討したい。



北海道厚沢部町での保育園留学の様子



さく らい やすし  
櫻 井 靖 議員

# 問 バリアフリーマップの提供を

## 答 施設のバリアフリーだけでなくバリアフリー情報は必要

**町長** 施設等がバリアフリー化されても、その施設や移動可能な経路がどこにあるのか分からなければ、高齢者や障がい者等は安心して外出できない。施設のバリアフリー化だけでなく、こうしたバリアフリー情報の提供は必要であると考えている。

**問** 松島海岸駅にエレベーターが付き、観光地の歩道も広く整備され、車椅子の方でも観光しやすいようになった。しかし、そういった情報が車椅子を利用していらっしゃる方に届いていないようだが、町の考えを伺う。

また、本町におけるバリアフリーマップの整備状況はどのようなになっているか。

**町民福祉課長** 現在、町でバリアフリーマップは作成していないが、スマートフォンでのバリアフリー対応地図アプリを利用してほしい。

**問** 五大堂など車椅子では行けない施設や場所も多くある。松島福祉ウィークや松島福祉の日を設け、みんなが協力して人力で足の不自由な方や車椅子の方が参拜できるようにできないか。

**町長** そういったやり方は可能だと思う。町が主体となってやることはできないが、ボランティア団体もしくは仲間内で、日にちを決めてやってみようという働きかけがあれば町としてサポートする。



五大堂入口の石段

**問** 町民にセカンドライフを充実してもらうためにライフサイクルに応じた保健福祉事業や生涯学習事業を実施している

**問** 地域や各種団体で必要となる委員または役員のなり手不足が問題になっている。65歳前後の年代は、町の様々な場面で活躍を期待できる年代であると考えている。

ある自治体では、65歳成人式を開催し、今後の人生に生きがいを持って地域で活躍してもらおうきっかけづくりの機会を設けている。我が町でも65歳成人式を行うことで、地域人材の発掘や生涯学習、各種サークルの活性化、町民の健康づくりにつなげることはできないか。

**町長** アドバロンを上げるのは簡単だが継続していくのが難しい。物事において、少しずつ熟慮しながら加わる方が増えていくのが望ましいと考えている。何かをやったとき、少しずつプラスアルファになるような参考となる地域があれば研修して町のために考えてみたいと思う。





あきらの 今野 議員

## 問 町営住宅の連帯保証人について

### 答 身元保証や未納対策に必要

**問** 町営住宅入居者や入居希望者から「連帯保証人を頼める人がいない」と相談があったが、既に国土交通省は、2018年3月に公営住宅管理標準条例案から保証人規定を削除し、事業主体にも検討を求めている。

**町**は、町営住宅条例から連帯保証人規定を削除する検討をしたか。また保証人規定を条例から削除する考えはないか。

**町長** 保証人規定の削除を担当課等で検討したが、保証人は、入居者の身元保証や未納対策など重要な役割を担っており必要と考えている。

**問** 町は、208戸ある町営住宅の削減計画を進めているが、高齢化の進展、貧困の拡大の中で公営住宅は極めて重要な位置づけを持たざるを得ない。削減計画を見直し、町営住宅を増やす考えはないか。

**副町長** 町営住宅がある愛宕、上初原、幡谷、小石浜については新たな入居は考えず、高城の町営住宅と災害公営住宅は長寿命化を図りながら管理・運用していく。

**建設課長** 今後も運用していく戸数は合計130戸。近年の入居者募集では、高城団地、新高城団地の入居応募が少なく、常に5戸から10戸程度の空き家が生じており、新たな町営住宅の整備は考えていない。

## 問 ゼロカーボンシティ宣言について

### 答 今を生きる私たちの社会的責務

**問** 6月8日、本町は「松島町ゼロカーボンシティ宣言」を行った。宣言は、2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指すもので、強い危機意識を持って取り組むべきと考えている。

**自治体は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、事務事業編と区域施策編の実行計画を策定するが、目標値、推進体制などは。**

**町長** 地球温暖化対策は、今を生きる私たちの社会的責務で、これまで以上に強い意識を持って推進する。

現在、事務事業編の策定は今年度末を目標に進めている。区域施策編の策定は、事務事業編の策定に努めながら検討したい。

**総務課長** 目標値は県計画と同様に2030年度で50%削減とし、内容を精査している。省エネの徹底やLED照明の導入など重点に位置づけ、事務局を総務課とし実行状況を把握する。

また、温室効果ガス排出量の実績値や、目標値に対する達成度等を過年度と比較可能な形で毎年公表する。



# 一部事務組合議会報告

## 塩釜地区消防事務組合

令和5年7月31日(月)  
令和5年第2回定例会

議案の審査状況

### 行政報告

①火災発生件数32件  
(前年比9件増)

②救急出場件数  
管内 4802件  
(前年比127件増)

③要介護認定審査判定  
管内 2147件  
審査会開催 70回

④障害支援区分判定  
管内 64件  
審査会開催数 6回

⑤し尿及び浄化槽汚泥搬入実績  
1976トン

⑥塩釜斎場及び塩釜地区  
りふ斎苑利用実績  
635件  
(前年比78件増)

\*令和5年3月～6月末

議案第8号 塩釜地区消防事務組合火災予防条例の一部を改正する条例

・議案第9号 塩釜地区消防事務組合職員の特務手当に関する条例の一部を改正する条例

・議案第10号 財産の取得(松島消防署及び利府消防署に配備している高規格緊急自動車2台を更

新整備)  
・議案第11号 財産の取得(松島消防署屈折はしご付消防ポンプ自動車は29年経過老朽化に伴う更新整備)

賛成全員 可決

米川 修司議員  
片山 正弘議員

## 宮城東部衛生処理組合

令和5年6月26日(月)  
令和5年第2回定例会

議案の審査状況

### 行政報告

①ごみの搬入状況  
7595トン  
(前年比441トン減)

松島町分 992トン  
(前年比12トン増)

②焼却灰等放射性物質濃度、排ガス中の放射性物質濃度及び埋立地浸出水

処理水、地下水放射性物質濃度、各施設敷地空間放射線量の測定結果は、いずれも目安や基準の範囲内にある。

原案のとおり可決

\*令和5年5月末

・議案第5号 宮城東部衛生処理組合個人情報保護に関する法律施行条例の一部を改正する条例について

赤間 幸夫議員  
高橋 幸彦議員

## 宮城県後期高齢者医療広域連合組合

令和5年8月4日(金)  
令和5年第2回定例会

議案の審査状況

・議案第14号 令和4年度宮城県後期高齢者医療広域連合一般会計決算及び後期高齢者医療特別会計決算の認定について

賛成多数 認定

・議案第15号 令和5年度宮城県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算(第1号)

賛成全員 可決

・議案第16号 令和5年度宮城県後期高齢者医療広域連合後期高齢者特別会計補正予算(第1号)

賛成多数 可決

ほか、副広域連合長、監査委員の選任同意

賛成全員 同意

桜井ていこ議員

## 吉田川流域溜池大和町外3市3ヶ町村組合

令和5年8月1日(火)  
令和5年第1回定例会

議案の審査状況

・認定第1号 令和4年度吉田川流域溜池大和町外3市3ヶ町村組合会計歳入歳出決算の認定について

賛成多数 認定

・議案第1号 令和5年度吉田川流域溜池大和町外3市3ヶ町村組合会計歳入歳出予算について

賛成多数 可決

ほか、報告第1号、専決処分の承認4件を審議。

高橋 利典議員

# デジタル推進 特別委員会調査報告



## 調査検討の経過

### 【特別委員会】

小委員会を設置し、それぞれ調査および検討を行った。

### 第一小委員会

情報通信技術を活用した議会運営の業務効率化について

### 第二小委員会

情報通信技術を活用した議会の多様な情報発信について

## 調査の概要

### 【第一小委員会】

・議会の効率化を進めるため、タブレット端末の導入を検討した。

①書類の印刷、整理、保存にかかるコストや労務の削減。②議案書等の多くの資料を簡便に持ち運べる、資料の検索が容易になる。③議員の広報広聴活動の充実化（タブレット端末で資料を示しながら町民へ説明できる）。

④危機管理体制の強化（災害時の安否確認等に

使用）。⑤ペーパーレス化による環境負荷の軽減。

### 【第二小委員会】

・ホームページの開設

現在の本町議会ホームページに会議録、議会基本条例解説および決議文を掲載したが、更に議会や委員会活動の情報より幅広く発信するため、

機動性と独立性のある議会ホームページの開設を要求したい。開設する際は、マルチデバイス対応

とした。

・議会中継の配信

審議内容のほか、議員の発言や態度など視聴者の好きな時間に傍聴することができ環境の設備を要求したい。町民の使いやすさを考慮し、機

能性・検索性に優れたASP方式配信システムとしたい。

## 調査検討の結果

### 【第一小委員会】

調査した各議会では、議会運営にタブレット端末を導入したことにより、紙の資料が大幅に減って、議会事務局における文書のコピーや配布等の事務負担が大幅に削減されていることから、導入後の効果は導入費用を支出して余りあるものと考え

また、議会における日程管理や情報共有、災害時の安否確認が容易になり、議員が町民にタブレット上で資料を提示しながら説明できるようになったことなど、ICT化推進の恩恵を受けている。

### 【第二小委員会】

松島町議会基本条例では、議会は、町政に係る重要な情報を、議会独自の視点から、常に町民に対して周知するよう努めるものとしている。①町民に対して開かれた議会

②行政のアップル③迅速でタイムリーな町政情報

の提供が実現できることを念頭に、議会情報を整理した体制を整えるべきである。

まとめ

### 【第一小委員会】

タブレット端末の導入について、議会運営、議員活動、議会に関するその他事務等の簡素化および効率化によるメリットを多く確認しており、当該議会においても同様の効果が得られるものと考えている。

### 【第二小委員会】

多くの町民に町政に関心を持ってもらえる機会を確保と、開かれた議会を実現するため、会議の映像配信や検索性を備えた会議録を構成する議会のホームページを独自に開設することは、議会においても議案審議等の質を高めるうえでも有効であるため、多様な手段を活用した情報発信の環境整備を早急に検討すべき

である。

## まとめ

### 【第一小委員会】

タブレット端末の導入について、議会運営、議員活動、議会に関するその他事務等の簡素化および効率化によるメリットを多く確認しており、当該議会においても同様の効果が得られるものと考えている。

### 【第二小委員会】

多くの町民に町政に関心を持ってもらえる機会を確保と、開かれた議会を実現するため、会議の映像配信や検索性を備えた会議録を構成する議会のホームページを独自に開設することは、議会においても議案審議等の質を高めるうえでも有効であるため、多様な手段を活用した情報発信の環境整備を早急に検討すべき

である。

以上が、本特別委員会において結論が出された主なものである。松島町議会がその機能の充実を図り、町民の付託と信頼に応えるべく、今回の特別委員会で議論されたことが町政の発展に寄与すると確信している。

## デジタル推進特別委員会

委員長 高橋 利典

副委員長 菅野 隆二

## 第一小委員会

委員長 米川 修司

副委員長 櫻井 靖

委員 後藤 良郎

委員 赤間 幸夫

委員 高橋 幸彦

委員 片山 正弘

## 第二小委員会

委員長 ※杉原 崇

副委員長 小澤 陽子

委員 菅野 隆二

委員 桜井 いてこ

委員 阿部 幸夫

委員 今野 章

※令和5年7月25日付

辞職

総務経済常任委員会

総務経済常任委員会  
教育民生常任委員会



調査事件

DX(デジタルトランスフォーメーション)を活用したまちづくりについて

調査期日

令和4年11月11日(金)  
令和5年1月23日(月)  
令和5年2月8日(水)  
令和5年3月15日(水)  
令和5年5月9日(火)  
令和5年5月10日(水)  
令和5年7月10日(月)  
令和5年8月8日(火)  
令和5年9月4日(月)

調査の概要

昨今のデジタル技術の発達はめざましいものがある。しかし、新型コロナウイルスの流行がきっかけとなり、縦割り行政の弊害による日本のデジタル化の遅れが露呈した。各方面でデジタル化の遅れを取り戻すべく、急速にDX化が推し進められている。本町においてもデジタル推進室が創

常任委員会

ことができた。町当局に  
対し次の項目について、  
提言するものである。

○松島町は日本有数の観光地であるが、新型コロナウイルス感染症の流行などにより宿泊客の減少が問題となっている。

体験型観光を取り入れる  
ようとしている本町にと  
つて、eスポーツへの取  
り組みは、その解決策の  
ひとつになるものと考え  
る。具体的に地域へどの  
ような経済効果や社会的  
意義を生み出すか明確で  
はない部分もあるが、経  
済効果を超えた様々な社  
会的意義を内包している  
と考えられている。なか  
でも「eスポーツキャン  
プ」は、合宿イベントで  
宿泊施設の多い松島町だ  
からこそ、開催した場合  
、宿泊数や関係人口の増加  
、期間中の食事で地元食材  
を提供することでのPR  
や、教育旅行との連動な  
ど様々な展開が見込まれ  
ることから、松島町とし  
て取り組むことができる

設され、町としてDXを  
推進しようとしている。  
そこで本委員会では、DX  
を活用したまちづくりに  
ついて先進地事例の研修  
を踏まえ本町の行政施策  
との比較を行い、課題解  
決の一助に委員会として  
の意見をまとめ、町当局  
に提言することとした。

調査の内容

①松島町におけるDXの  
取り組みについて

②先進自治体の取り組み

○大阪府泉佐野市におけ  
るeスポーツの取り組み  
について

○三重県志摩市における  
「マイナンバーカードやス  
マホアプリを活用した簡  
単申請書作成」の取り組  
みについて

まとめ

当委員会は、先進自治  
体の取り組み状況を調査  
することで、わが町に活  
かせる有効な行政施策や  
取組姿勢などを研修する

か調査・研究を行うべき  
である。

また、事業を実施する  
際は、依存の問題やメン  
タルヘルスに与える影響  
を留意しながら進めるべ  
きである。

○松島町においても高齢  
化率が高い(39・6%)。  
「書かない窓口」を導入  
することは、高齢者の各  
種申請書を書く負担の軽  
減につながられるばかり  
ではなく、窓口業務の効  
率化、作業時間が短縮さ  
れ、他の業務の手厚いサ  
ービスにつなげていける  
と考えられる。ぜひ導入  
すべきである。

また、スマホを使って  
自ら必要な手続きのQR  
コードを作成するアプリ  
については、確かに短時  
間で必要な書類を取得で  
き、忙しい人にとっては  
大変有効なサービスでは  
あるが、志摩市の例から  
登録者数が少なく、費用  
対効果を考えると導入に  
ついては慎重に検討すべ  
きである。

○DXを活用したまちづ  
くりは、各自治体が、そ  
れぞれ特性にあわせ、柔  
軟な考えのもと行われて  
いる。本町においても町  
の特性を考えた取り組み  
を行うよう望むものであ  
る。そして、庁舎内だけ  
のデジタル化・効率化を  
進めるのではなく、  
町民の多くが便利になっ  
たと思えるものを実現す  
べきである。また、経費  
については、「デジタル  
田園都市国家構想推進交  
付金」等を有効的に活用  
すべきである。



e スタジアム泉佐野で体験の様子

# 教育民生常任委員会

## 調査事件

### ①小中学校の安全対策について

#### 調査の概要

近隣市町で、学校敷地内や通学途中に子どもが被害者となった事故が多発した。子どもの命や身体、心の傷を負わせないため、子どもを守る対策をどう講じているのか調査した。

- ①通学路の安全確認内容
  - ・道路状況 道路（歩道）幅、通行車両の車種、車両のスピード、路面状況、見通しのよさ。
  - ・公安施設 停止線、標識、信号機の設置。
  - ・道路付属物 側溝蓋、歩道境界ブロック、照明灯、ガードレール。

・子ども110番の家、  
注意看板の設置。

②幼稚園、小学校の安全対策マニュアル整備状況と不審者侵入時の避難訓練の実施確認（第一小学校、第一幼稚園）

## まとめ

安全対策は、町、学校、各道路管理者等が連携し、子どもの安全を第一として確保されていることが確認できた。安全性を確保するため、①通学路の安全対策②施設・遊具の安全対策③不審者対策④災害対策の4項目にマニュアル整備や安全点検のほか、避難訓練など実施されている。

人の移動があっても、継続して安全性の確保をお願いし、町人口の自然減に伴いマンパワーが不足する懸念から、次の事項の整備を要望した。

- 不審者や災害等からの危険を回避するため、適切な人員確保を求める。
- 「子ども110番の家」については、協力者の状況に合わせた柔軟な登録制度と、不審者情報があった際に、子ども110番の家の登録者、警察、町が連携し、全町に通知するなど不審者の抑止力

につながる対応を求める。また、不審者情報は、地域で情報のタイムラグが生じることのないよう対応を求める。

○現在、学校に整備されている緊急通報システムの通知ボタンの増設を求める。

○学校の防犯カメラは、不審者の抑止力に働きかけるほか、録画を保存することで有事があった際にも早期解決に繋がり、有効活用できるので整備されたい。

○学校等では、関係者以外の立ち入りをお断りされているが、車止めなどの構築物を設置されていない。容易に不審者や車両等が侵入することができないよう設置を求める。



不審者対策のお話を伺いました

## 調査事件

### ②文化財を活用した学校教育について

#### 調査の概要

奈良県明日香村（幼小中一貫教育により村全体を「屋根のない博物館」とする学習プログラムを実施）

奈良県田原本町（鍵遺跡をアプリケーションやWeb・CGで再現する「唐古・鍵考古学バーチャルミュージアム」でICT教育を導入）

滋賀県守山市（下之郷史跡公園内の遺跡のほか、当時の稲作体験ができる施設が併設）

## まとめ

町内出土の文化財のほとんどは、手樽地域交流センター（旧第三小学校）に保管されている。この貴重な文化財を教育財産として、子ども達が自分の住む地域に興味を持ち魅力を語れる教材とするほか、観光資源として活用できる魅力的な博物館機能具备了施設として整備すべきである。

「松島まるごと学」は、小学校3年生から中学校まで、町の歴史文化に触れながら体験学習できる貴重な場である、町民の方々が、子ども達と一緒に学習できるよう気軽に参加できる環境づくりの構築を図られたい。

①②の各調査事件の調査期間と回数は令和4年3月から令和5年8月まで19回にわたり実施した。

## 各常任委員の構成

### 総務経済常任委員会

- 委員長 櫻井 靖
  - 副委員長 菅野 隆二
  - 委員 赤間 幸夫
  - 委員 高橋 幸彦
  - 委員 今野 章
  - 委員 ※杉原 崇
- ※令和5年7月25日付  
辞職

### 教育民生常任委員会

- 委員長 阿部 幸夫
  - 副委員長 桜井ていこ
  - 委員 米川 修司
  - 委員 後藤 良郎
  - 委員 小澤 陽子
  - 委員 片山 正弘
  - 委員 高橋 利典
- （注）常任委員会は議長以外の議員で構成されます

# 町民の聲



鈴木幸太郎 さん  
(高城)

## 自分ができる地域づくりを

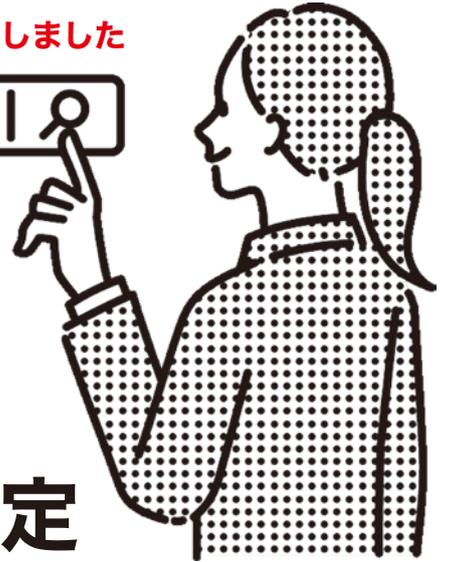
松島町高城在住の鈴木です。大学生まで松島で過ごし、アメリカへ留学。その後企業へ就職し、東日本大震災を機に、地元へ何か出来る事は無いかと考える様になっていきました。

2013年に起業すべく退職し、Uターンへ。2014年「宮城の食のセレクトショップ」をコンセプトにした店を起業。メインでは宮城県産の牡蠣を1粒入れたおせんべいを作っています。新商品では、松島産の牡蠣を100%使用した牡蠣エキスソースも開発しました。

また、松島の牡蠣に合うワインをコンセプトとしたワイン造りプロジェクトを行ったり、毎月24日に近い日曜日に宮城の農産物、海産物や雑貨店を集めた「瑞巖寺杉道市」を開催しています。

復興の一助になればと思いましたが、これからも自分ができる事から、地域づくりを出来たらと思っています。

### 議会の会議録を掲載しました



まつしま議会だより  
バックナンバー

こちらから



松島町議会  
ホームページ

こちらから



# 次回 第4回の定例会 12月7日(木) 開催予定

- ▶ 議会の傍聴は役場庁舎1階の「町民の部屋」でも視聴できます
- ▶ 議場で傍聴される方は住所と氏名の記入をお願いします

## 編集後記

コロナが「5類」に引き下げられて以降、観光地松島は団体旅行を中心に毎日たくさん観光客で賑わっております。修学旅行に社員旅行、そしてアジア圏のみならず欧米からもインパウンドのお客様が訪れ、「コロナ前に戻ったのでは？」とのお声も聞こえてきます。私がこの編集後記を書いている10月下旬、今年も瑞巖寺、円通院紅葉ライトアップが開催され、そして例年より1ヶ月遅れとなりましたが牡蠣剥きも始まり、松島の魅力が詰まった季節の到来でさらに賑わいをみせる事でしょう。

春夏秋冬様々な魅力、美しさを感じる事が出来る松島。これを機に皆様も地元松島観光にお出かけしてみてくださいいかがでしょうか。

松島町議会議員に新たに加わりました。皆様どうぞ宜しくお願い致します。

(中島 一郎)

### 広報広聴常任委員会広報分科会

- |     |         |
|-----|---------|
| 委員長 | 櫻井 靖    |
| 委員  | 菅野 隆二   |
| 委員  | 米川 修司   |
| 委員  | 桜井 いていこ |
| 委員  | 中島 一都   |
| 委員  | 小澤 陽子   |
| 委員  | 高橋 利典   |